

□□□□ □□□□



2025 (令和7) 年度 養豚農業実態調査

基本情報

フリガナ		フリガナ		性別	男・女
法人名等		経営者名		生年	昭和・平成・西暦 年
農場所在地	〒 ー それ以下の丁目や番地 都 道 区 区 府 県 市・郡 町・村				
連絡先住所 <small>(事務所・自宅等、 上記と別にあれば 記載)</small>	〒 ー それ以下の丁目や番地 都 道 区 区 府 県 市・郡 町・村				
郵便物の送付先	(どちらかひとつに○) 1. 農場所在地宛て 2. 連絡先住所宛て				
電話番号		携帯電話番号			
メールアドレス		FAX番号			
経営者から 見た記入者 の関係	1. 本人 2. 家族：1.父・2.母・3.子・4.配偶者・5.その他 () 3. 従業員：役職 () 4. 関連団体 ()		記入者名 <small>(経営者と 異なる場合 のみ記載)</small>		記入者 連絡先 <small>(メールアドレス・携帯電話 等)</small>
廃業等 について	1. 廃業する予定はない → Q1へ 2. 廃業予定 → Q1へ ↳ 廃業予定年月：西暦 年 月 月予定 3. すでに廃業している → アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 廃業年月：西暦 年 月 月 廃業理由：				

現業の経営状況についてお伺いします

Q1. 現在の経営形態をお知らせください。(○はひとつ)

- 個人経営 (家族労働主体)
- 法人経営 (農事組合法人・有限会社・株式会社)
- 上記以外の法人経営 (具体的に：)
- 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場

Q2. 現在、契約・預託農場ですか？ (○はひとつ)

- 契約・預託農場ではない
- 契約・預託農場である (会社、農協、民間養豚場等)

Q3. 現在の養豚に従事している方をお知らせください。（〇はいくつでも）またその人数をお知らせください。

該当する人数を記入

- | | | | |
|--|---|----------------------|---|
| 1. 家族労働 ※（経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等） | → | <input type="text"/> | 人 |
| 2. 常勤雇員（社員、契約社員、パート、アルバイト） | → | <input type="text"/> | 人 |
| 3. 非常勤雇員（必要な日、必要な時間で雇用） | → | <input type="text"/> | 人 |
| 4. その他（豚肉加工・販売など担当） | → | <input type="text"/> | 人 |

※家族労働：生計が異なる場合も含む

Q4. 現在、農場の人員は足りていますか？（〇はひとつ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 人員は足りている | 2. 人員は足りていない |
|-------------|--------------|

Q5. 後継者についてお知らせください。（〇はひとつ）また後継者や対象者のいる方は年齢をご記入ください。

- | | | | | |
|-------------------------|---|--------|----------------------|---|
| 1. 後継者は決まっている | → | 後継者の年齢 | <input type="text"/> | 歳 |
| 2. 対象者はいるが、現在は決まっていない | → | 対象者の年齢 | <input type="text"/> | 歳 |
| 3. 自分の年齢が若いので考えていない | | | | |
| 4. 後継者はいない・後継者は考えていない | | | | |
| 5. 経営形態が後継者と関係ない（株式会社等） | | | | |

Q6. 経営タイプについてお知らせください。（〇はひとつ）

- | | | |
|-----------------------|---|----------------------------------|
| 1. 肉豚生産・繁殖経営の両方（一貫経営） | → | <input type="text" value="Q7^"/> |
| 2. 肉豚生産（肥育のみ） | → | <input type="text" value="Q7^"/> |
| 3. 繁殖経営 | → | <input type="text" value="Q8^"/> |

Q7. 肉豚生産について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	全所有農場数	うち、他都道府県にある農場数
肉豚生産	1. 一貫生産農場	1. 繁殖	純粋種豚 ①	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			純粋種豚+子取り用雌豚（PS） ②	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			子取り用雌豚（PS） ③	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	2. マルチサイト経営	2. 肥育	子豚 ①	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			肥育豚（ウィーントウフィニッシュ含む） ②	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	3. 肥育			<input type="text"/>	<input type="text"/>

Q8. 繁殖経営について該当する箇所に農場数をご記入ください。

経営タイプ	農場形態	飼養形態	飼養豚	全所有農場数	うち、他都道府県にある農場数
繁殖経営	繁殖	1. 繁殖	純粋種豚 ①	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			純粋種豚+子取り用雌豚（PS） ②	<input type="text"/>	<input type="text"/>
			子取り用雌豚（PS） ③	<input type="text"/>	<input type="text"/>

飼養頭数・出荷頭数等についてお伺いします

Q9. 飼養している頭数の合計をお知らせください。

2025年8月1日現在の頭数を記入

飼養合計頭数		頭
--------	--	---

合計頭数が合致する様にご記入ください。

Q10. 飼養している品種別の頭数をご記入ください。（飼育している合計頭数が合致する様にご記入ください）

種豚	純粋種	国産					海外産					計	
		品種メーカー名	ランドレース (L)	大ヨークシャー (W)	パークシャー (B)	デュロック (D)	その他	TOPIGS	ダンブレッド	ハイポー	ケンボロー		その他
	子取り用雌豚		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
	種雄豚		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
種豚	交雑種	国産			海外産					計			
		品種メーカー名	LW.WL	DB.BD	その他	TOPIGS	ダンブレッド	ハイポー	ケンボロー		その他		
	子取り用雌豚		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
	種雄豚		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭
育成豚（繁殖利用予定で未交配（雌、雄）のもの）												頭	
子豚（子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの）												頭	
肥育豚（肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの）												頭	

Q11. 【Q10でその他とお答えの方へ】品種等についてお知らせください。（該当する箇所名称をご記入ください）

種豚	純粋種	国産のその他	具体的な品種やメーカー名：
		海外産のその他	具体的な品種やメーカー名：
	交雑種	国産のその他	具体的な品種やメーカー名：
		海外産のその他	具体的な品種やメーカー名：

Q12. 肉豚生産において、子取り用雌豚に交配している止め雄（生体及び精液）の品種等をお知らせください。

（複数品種を利用されている場合は全て記入してください）

止め雄	純粋種	国産	具体的な品種やメーカー名：	→ Q13へ
		海外産	具体的な品種やメーカー名：	
	交雑種	国産	具体的な品種やメーカー名：	
		海外産	具体的な品種やメーカー名：	

Q13. 【Q12で国産の純粋種とお答えの方へ】子取り用雌豚のうち、国産の純粋種の止め雄（生体及び精液）を交配している頭数を

お知らせください。（2025年8月1日現在の頭数をご記入ください）

国産の純粋種の止め雄（生体及び精液）を交配している子取り用雌豚	→		頭
それ以外を交配している子取り用雌豚	→		頭

Q14. 導入・出荷頭数についてお知らせください。(該当する箇所に頭数をご記入ください)

2024年度の決算期間の総計を記入

純粋種豚導入頭数	→	<input type="text"/>	頭	年間肉豚出荷頭数	→	<input type="text"/>	頭
子取り用雌豚 (PS) 導入頭数	→	<input type="text"/>	頭	種豚候補豚 (純粋種・PS等) の販売頭数	→	<input type="text"/>	頭
肥育豚導入頭数	→	<input type="text"/>	頭	年間肉用子豚出荷頭数(販売)	→	<input type="text"/>	頭
				種豚 (雄、雌) 年間廃用頭数	→	<input type="text"/>	頭

Q15. 繁殖成績についてお知らせください。

2024年度の決算期間の総計を記入

年間種付け頭数 (1年間に種付けした母豚の全頭数)	→	総	<input type="text"/>	頭
年間総分娩頭数 (1年間に分娩した母豚の全頭数)	→	総	<input type="text"/>	頭
回転数 (1母豚あたりの年間平均分娩回数)	→	平均	<input type="text"/>	回転
1腹当たり平均産子数 (分娩頭数)	→	平均	<input type="text"/>	頭
1腹当たり平均哺乳開始頭数	→	平均	<input type="text"/>	頭
1腹当たり平均離乳頭数	→	平均	<input type="text"/>	頭

Q16. 肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量、事故率についてお知らせください。

2024年度の決算期間の総計を記入

肉豚出荷日齢平均 (生後日齢)	→	平均	<input type="text"/>	日齢
年間肉豚総出荷生体重 (1年間に出荷した肉豚の総体重)	→	総	<input type="text"/>	kg
年間総枝肉重量 (1年間に出荷した枝肉の総重量)	→	総	<input type="text"/>	kg
年間離乳後事故率(事故頭数÷離乳頭数×100)	→		<input type="text"/>	%
肉豚 1 頭当たりの運賃	→		<input type="text"/>	円

Q17. 肉豚の評価方法についてお知らせください。(〇はいくつでも) 評価している場合はその頭数をご記入ください。

1. 日格協が実施する枝肉取引規格に基づく評価 (格付)	→	<input type="text"/>	頭
2. 独自の評価基準 (パッカー・ブランド化・協議会などの自主的な評価)	→	<input type="text"/>	頭
3. 評価をしていない (生体販売など) 【評価していない理由をQ18に】			
4. 評価の方法を把握していない			

Q18. 評価をしていない理由をお知らせください。

具体的な理由：

Q19. 年間上物率、年間枝肉歩留まり率についてお知らせください。

年間上物率 (格付している豚のうち) % 枝肉歩留まり率 %

Q20. 相対取引の実施状況についてお知らせください。(〇はひとつ)

1. 相対取引を実施している	→	契約枝肉重量：最低重量 <input style="width: 100px;" type="text"/> kg ~ 最高重量 <input style="width: 100px;" type="text"/> kg
2. 相対取引を実施していない		

Q21. ベンチマーキング※に参加していますか。(○はひとつ)

- 1. 参加している
- 2. 参加していない

Q22. 参加しているベンチマーキングの名称をお知らせください。(○はいくつでも)

- 1. JASVベンチマーキングシステム
- 2. 農協系 (具体的に:)
- 3. 飼料メーカー系 (具体的に:)
- 4. その他 (具体的に:)

Q23. 参加していない (したくない・出来ない) 理由があればお聞かせください。

具体的に:

→ Q26へ

※ベンチマーキングとは、養豚農家から生産データなどを定期的に収集し、生産項目の優れた点、劣った点等の評価結果により、改善目標値との差異を改善することで増収益を推定し、養豚経営の向上を行う手法を指します。

Q24. ベンチマーキング導入による効果を実感していますか？(○はひとつ)

- 1. 実感している
- 2. 実感していない

Q25. 今後も継続して参加したいですか？(○はひとつ) また、参加を取りやめたい理由をお聞かせください。

- 1. 継続して参加したい
- 2. 参加をやめたい

具体的に:

Q26. 養豚管理ソフトの使用についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 養豚管理ソフトを使用している
- 2. 養豚管理ソフトを使用していない

使用しているソフト名:

Q27. グループ生産システムの導入状況についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. グループ生産システムを導入している
- 2. グループ生産システムを導入していない

Q30へ

Q28. 導入している管理手法をお知らせください。(○はいくつでも)

- 1. スリーセブン
- 2. フォーファイブ
- 3. その他 (具体的に:)

Q29. 導入メリットをお知らせください。(○はいくつでも)

- 1. オールイン・オールアウトが可能
- 2. 疾病発生率が減少した
- 3. 休日が確保出来るようになった
- 4. その他 (具体的に:)



Q30. スマート機器を活用していますか。(○はひとつ)

1. 活用している	→	Q32へ
2. 活用していない		

Q31. 【活用している方へ】活用しているスマート機器の名称をお知らせください。(○はいくつでも)

1. オートソーター (母豚群管理、肥育豚管理)
2. 飼育管理装置 (AIカメラ等による畜舎環境の測定・管理)
3. 自動環境制御装置 (湿度等をモニタリングしカーテン等の制御装置等と連動して畜舎環境を調整・管理)
4. 自動給餌機 (個体毎に分析・計算されて給餌時間・給餌量に基づいた自動給餌)
5. 体重推定機器 (非接触測定により体重推定)
6. 豚舎自動洗浄ロボット (登録した洗浄パターンに基づいた豚房の自動洗浄)
7. 飼料タンク残量確認装置 (飼料タンクの残量可視化や豚の食下量のモニタリング)
8. その他 ()

Q32. 暑熱対策の導入状況についてお知らせください。(○はひとつ) また、導入している機器の名称をご記入ください。

1. 導入している	→	機器の名称
2. 導入していない		

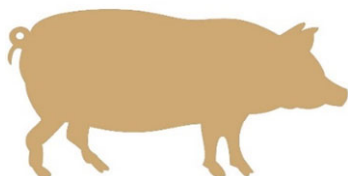
農業共済 (家畜共済含む) についてお伺いします

Q33. 農業共済 (家畜共済含む) の加入状況と希望する家畜共済についてお伺いします。(○はひとつ)

1. 農業共済に加入している	→	Q35. 【全員の方へ】どのような共済が望ましいですか？ (○はいくつでも)
2. 農業共済に加入していない		

Q34. 加入していない理由をお知らせください。 (○はいくつでも)	→
1. 共済掛金が高い	
2. 加入方法がわかりにくい	
3. 掛金に対して支払額が見合わない	
4. 防疫上、部外者を入れたくない	
5. その他 (具体的に:)	

1. 加入方法、支払額のわかりやすさ
2. 共済掛金を低くする
3. 哺乳子豚を共済対象に含める
4. 補償期間の延長
5. その他 (具体的に:)



交配方法とAIについてお伺いします

Q36. 交配の方法についてお知らせください。(○はひとつ) また交配回数をお知らせください。

1. 自然交配のみ		回	→	Q38へ
2. 人工授精のみ		回	→	Q37へ
3. 自然交配+人工授精の併用	自然交配	回+	人工授精	
4. 上記に当てはまらない場合、具体例をご記入ください。(例：初産と経産、季節で交配方法を変えている等)	具体的に：			

Q37. 【Q36で「人工授精をしている」と回答の方へ】人工授精における精液の入手方法についてお知らせください。(○はひとつ)

1. すべて自家採精
2. すべて外部（公的試験場・AIセンター）導入
3. 自家採精と外部導入を併用

飼料等についてお伺いします

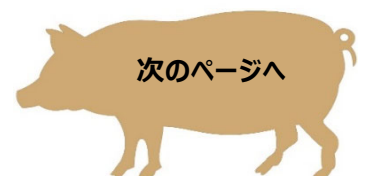
Q38. 飼料の給与形態についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 市販配合飼料のみ（配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む）	↓
2. 市販配合飼料+自家配合飼料	
3. 自家配合飼料のみ（丸粒トウモロコシ単味飼料やエコフィード等の飼料原料を調達して自ら配合・調整したもの） → Q40へ	

Q39. 市販配合飼料の購入費を抑えるために工夫していることはありますか？(○はひとつ)

※購入量そのものを減少させる取り組みではなく、市販で購入する場合に安く購入する工夫についてお答えください。

1. 共同購入により価格交渉をしている
2. 一定量の購入を継続することで価格交渉している
3. その他（具体的に： _____）



Q40. 現在使用している飼料をお知らせください。(○はいくつでも) また、使用飼料の年間使用量をご記入ください。

2024年度の決算期間の総計を記入

配合飼料	1. 配合飼料	→	<input type="text"/>	t	
	2. エコフィード※1利用配合飼料	→	<input type="text"/>	t	→ うちエコフィードの配合割合 <input type="text"/> %
	3. 飼料用米利用配合飼料	→	<input type="text"/>	t	→ うち飼料用米の配合割合 <input type="text"/> %
単味飼料	4. 飼料用米	→	<input type="text"/>	t	
	5. 輸入丸粒トウモロコシ	→	<input type="text"/>	t	
	6. 国産子実用トウモロコシ	→	<input type="text"/>	t	
	7. エコフィード(食品製造副産物等) ※2	→	<input type="text"/>	t	
	8. エコフィード(厨芥残さ等) ※3	→	<input type="text"/>	t	
	9. その他の単味飼料	→	<input type="text"/>	t	→ 9.その他の単味飼料内容を記入

飼料名:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	t
飼料名:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	t
飼料名:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	t
飼料名:	<input type="text"/>	<input type="text"/>	t

【記入上の注意】

※1.エコフィードとは、食品残さを原料として、加熱乾燥、発酵、液状化(リキッド)等の加工処理により飼料化したものです。

※2.「エコフィード(食品製造副産物等)」とは、食品工場から排出される食品製造副産物(パン屑、とうふ粕等)、スーパーやコンビニ等から排出される余剰食品(賞味期限切れ弁当等)、農場残さ(規格外野菜等)を飼料として活用しているものを指しています。

※3.「エコフィード(厨芥残さ等)」とは、飲食店等から排出される調理残さ(カット野菜屑等)、家庭や食堂等から出た食べ残し等を飼料として活用しているものを指しています。

注) 米ぬか、ふすま、油かす、ビートパルプを使用している場合には「その他」にご記入ください。

注) MA米を使用している場合には、「その他」にご記入ください。

4に○をした方はQ41へ
それ以外の方はQ43へ

Q41. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の今後の利用意向についてお知らせください。(○はひとつ)

1. 飼料用米の利用を継続・拡大したい	→	希望数量	<input type="text"/>	t/年
2. 飼料用米の利用を減らすか中止したい	→	理由	<input type="text"/>	

Q42. 【飼料用米を利用している方へ】飼料用米の買取価格についてお知らせください。

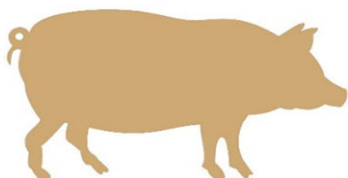
飼料用米の買取価格 西暦 年 月時点 円/kg

Q43. 【肥育豚を飼養している全員の方へ】飼料代についてお知らせください。

2025年4月～6月の肥育後期飼料の農場着値 円/t (飼料運搬費を含む)

Q44. 【肥育豚を飼養している全員の方へ】さらに分かれば、工場から農場までの距離と運賃についてお知らせください。

工場から農場までの距離 km 運賃 円



Q51. 今後の経営動向についてお知らせください。(○はひとつ)

- 1. 規模拡大予定
- 2. 増減なく、現状を維持していく
- 3. 規模縮小予定

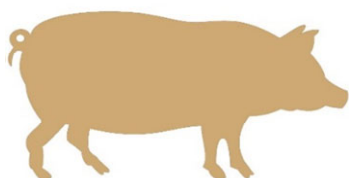
Q54へ

Q52. 規模拡大について。(○はひとつ)

- 1. 今年中に規模拡大を計画している
- 2. 4年以内に規模拡大を計画している
- 3. 具体的な計画はないが、規模拡大を検討したい

Q53. 規模縮小について。(○はひとつ)

- 1. 今年中に規模縮小を計画している
- 2. 4年以内に規模縮小を計画している
- 3. 具体的な計画はないが、規模縮小を検討したい



環境対策についてお伺いします

<汚水浄化処理施設についてお伺いします>

Q54. 畜舎汚水等を処理して河川等に放流（排水）するため、汚水浄化処理施設を持っていますか。（○はひとつ）

1. 持っている → 2. 持っていない → Q66へ

Q55. 【Q54で「1.持っている」と回答の方へ】日排水量をお知らせください。（○はひとつ）

1. 50㎡以上 2. 50㎡未満

Q56. 【Q54で「1.持っている」と回答の方へ】使用している汚水浄化処理様式をお知らせください。（代表的な様式に○をひとつ）

1. 連続式活性汚泥法（汚水は連続投入している） 2. 回分式活性汚泥法（汚水の投入は1日1回）
 3. その他 → Q59へ 4. 分からない → Q60へ

Q57. 【Q56で「1.連続式活性汚泥法」と回答の方へ】各工程や装置の有無についてお知らせください。（各○はひとつ）

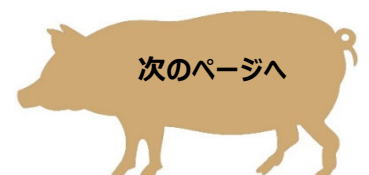
	はい	いいえ	分からない
1) 窒素除去の工程がありますか（嫌気・好気を繰り返す工程）	1	2	3
2) 膜分離がありますか	1	2	3
3) 放流水は消毒してから公共用水域に放流していますか	1	2	3

Q58. 【Q56で「2.回分式活性汚泥法」と回答の方へ】工程の有無についてお知らせください。（○はひとつ）

	はい	いいえ	分からない
1) 放流水は消毒してから公共用水域に放流していますか	1	2	3

Q59. 【Q56で「1～3」と回答の方へ】お判りでしたら処理様式名をお知らせください。

連続式活性汚泥法		例：連続式活性汚泥法・連続式硝化液循環活性汚泥法など
回分式活性汚泥法		例：複合ラグーン法・神奈川（BOD）方式など
その他の方法		例：生物膜法など



Q60. 【Q54で「1. 持っている」と回答した方へ】汚水浄化処理施設をこの一年で改修・新設しましたか。(○はひとつ)

1. 改修・新設した	2. 改修・新設していない	→ Q62へ
------------	---------------	--------

Q61. 【Q60で「1. 改修・新設した」と回答した方へ】公害防止税制は活用されましたか。(○はひとつ)

1. 活用した	2. 活用する見込み	3. 活用していない
---------	------------	------------

Q62. 【Q54で「1. 持っている」と回答した方へ】施設や機械の更新を計画していますか。(○はひとつ)

1. 計画している	2. 計画していない
-----------	------------

Q63. 【Q54で「1. 持っている」と回答した方へ】水質汚濁防止法の特定施設の届出をしていますか。(○はひとつ)

1. 届出をしている	2. 届出をしていない (豚房面積が50㎡未満、公共下水に放流)
------------	----------------------------------

Q64. 【Q54で「1. 持っている」と回答した方へ】年1回以上、水質検査をしていますか？(○はひとつ)

1. 年1回以上、水質検査をしている	→ Q65へ
2. 水質検査をしていない	→ Q67へ

Q65. 水質汚濁防止法に基づく水質検査値 (1年間の最大値及びその測定月を記入) をお知らせください。

1. 硝酸性窒素等※1 (暫定排水基準400mg/L、適用期限：2028年9月)	西暦	年	月実施		mg/L
2. 全窒素※2(暫定排水基準:130mg/L、適用期限：2028年9月)	西暦	年	月実施		mg/L
3. 全リン※2(暫定排水基準:22mg/L、適用期限：2028年9月)	西暦	年	月実施		mg/L
4. 水質汚濁防止法の対象外 (公共下水への放流等)	→ 4の場合は右枠に○を記入				

※1.アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (アンモニア性窒素×0.4、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素の合計量)

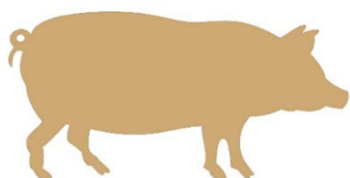
※2.全窒素及び全リンについては、規制対象地域外の場合は、記入不要です。

注) 暫定排水基準は、段階的に引き下げられています。将来的には一般排水基準となる可能性があります。その可能性を念頭においた施設の整備・管理が必要です。

注) 一般排水基準 (硝酸性窒素等：100mg/L、全窒素：120mg/L、全リン：16mg/L)

Q66. 【Q54で「2. 持っていない」と回答した方のみ】規模拡大等に伴い汚水処理施設を新設する意向がありますか。(○はひとつ)

1. 意向がある	2. 意向がない
----------	----------



アニマルウェルフェアについてお伺いします

Q67. 「アニマルウェルフェア（以下、AWという）」の認知度についてお知らせください。（○はひとつ）

1. AWの考え方や内容をよく知っている。
2. AWという言葉は知っているが、内容まではあまり知らない。
3. AWという言葉を知らない。

Q69へ

Q68. 2023年7月26日に農林水産省が『豚の飼養管理に関する技術的な指針』を公表したことを知っていますか。（○はひとつ）

1. 知っている
2. 知らない

災害等非常時のBCP（事業継続計画）※に関してお伺いします

Q69. 災害等非常時の停電に備え、発電機（非常用電源装置）を確保していますか。（○はひとつ）

1. 確保している
2. 確保していない

Q70. 災害等非常時に備えた飼料在庫量を確保していますか。また、常時確保している飼料在庫量をお知らせください。（○はひとつ）

1. 確保している
2. 確保していない

常時確保している飼料在庫量 約 日分

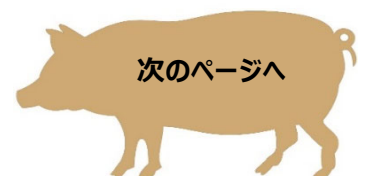
Q71. 災害等非常時に備え、飲水用の貯留タンクの設置や汲み上げポンプ等を用意していますか。（○はひとつ）

1. 用意している
2. 用意していない

1. 貯留タンク
2. 汲み上げポンプ
3. その他（ ）

※BCP（事業継続計画、Business Continuity Plan）とは：

自然災害などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめ、中核事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを予め取り決めておく計画のこと。



豚熱ワクチンについてお伺いします

Q72. 豚熱ワクチンの接種状況についてお知らせください。(代表的な接種状況に○をひとつ)

1. 接種している (家畜防疫員が実施)	→	現在の接種価格	<input type="text"/>	円/頭
2. 接種している (知事認定獣医師が実施)	→	現在の接種価格	<input type="text"/>	円/頭
3. 接種している (登録を受けた飼養衛生管理者が実施)	→	現在の接種価格	<input type="text"/>	円/頭
4. 接種済みの肥育豚を導入している	→	Q76へ		
5. 接種していない (非接種地域)				

注) 接種価格に手数料等は含まない

Q73. 【非接種の方へ】豚熱ワクチンの接種について (○はひとつ)

1. 接種範囲に指定されたい
2. 接種範囲に指定されなくてもしたい
3. 接種したくない

Q74. 【接種の方へ】豚熱ワクチンの接種価格について (○はひとつ)

1. 妥当
2. 高い
3. 安い
4. その他 ()

Q75. 【接種の方へ】豚熱ワクチンの接種時期についてお知らせください。

接種日齢 日齢

最後に、ご意見・ご要望などお聞かせください

Q76. ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは終了です。ご回答ありがとうございました。

